トイレの修理で予想外の高額請求に注意!

突然発生するトイレ詰まり。焦って格安をうたう業者に修理を頼むと、
思わぬトラブルに発展する可能性が！

＼ちょっと待って！／

修理を頼む前に、【自分でできる応急処置】

応急処置をして、落ち着いてから修理業者に見積もりや修理を依頼しましょう

1 詰まった場合

ラバーカップで詰まった水を吸い上げるように数回上下させると、
詰まりが解消することがあります。

2 水漏れの場合

止水栓を時計回りにコインやドライバーなどで閉めると、
その給水管の水が止まります。

編集・発行：NCAC 国民生活センター NATIONAL CONSUMER AFFAIRS CENTER OF JAPAN

トラブルを避けるためにできること

修理依頼前

インターネット上の広告が安価だからといって、実際の請求金額が安く済むとは限りません。
複数社から見積もりをとり、作業内容や料金をよく確認しましょう。
出張や見積もりが、有料か無料かを確認することも大切です。

修理見積時

事業者が見積もりに来た時に、当初想定していた料金よりも高額な作業を提案されるなど、少しでも不安に感じたら、作業を断りましょう。

修理完了後

作業終了後に高額請求を受けた場合は、後日納得した金額で支払う意思があることを伝え、その場での支払いはきっぱり断りましょう。支払いを断ったとき、事業者の態度に身の危険を感じることがあれば、すぐ警察に連絡しましょう。

▶ 普段から、急を要するトラブルに備えておこう

賃貸住宅の場合
大家や管理会社に緊急時の対応について事前に相談しておくと安心です。

持ち家の場合
安心して依頼できる事業者の情報を日頃から集めておきましょう。

日頃から情報を収集しておこう

こんなことも知っておこう!

料金を支払った後でも、以下のような場合はクーリング・オフができる可能性があります。
○見積もりのために呼んだ事業者と、その場で契約した場合
○広告などの表示金額と実際の請求金額が大きく異なる場合

編集・発行：独立行政法人国民生活センター広報部（法人番号4021005002918）
〒108-8602　東京都港区高輪3-13-22
デザイン・翻訳：株式会社インターブックス

2023年3月発行